



第40回 福島ブロック会員大会in会津坂下フォーラム

地域社会の再生は自分たちの手で！

市民討議が坂下の

まちづくりを変える！



7月4日(日)

会津坂下町民体育館 2階体育場

10:00~12:20
(受付・開場9:30)

入場無料：先着500名

基調講演 みんなでつくる住民自治 福島大学 教授 ^{まつの てるのぶ} 松野光伸氏

プロフィール

日本の行政の基本的特質、特殊性などについて、地方自治に関する分析を通じて明らかにすることを主要な研究課題としており、過去には自治会・町内会の機能、コミュニティ行政を対象に、実証的分析を深めることを研究の中心に据えていらっしゃいます松野氏に基調講演をしていただき、住民自らが地域の再生を行う住民自治、すなわち「地域コミュニティ」の重要性と必要性を感じ取っていただきます。

講演会 自治を拓く市民討議会 市民討議会推進ネットワーク 代表 ^{よしだ すみお} 吉田純夫氏

プロフィール

『市民討議会推進ネットワーク』はドイツから始まりヨーロッパで広く実施されている市民参加の手法「プランクツェレ」を参考に考案した新しい市民参加のかたち「市民討議会」を中心に「市民の地域政治への参加」を推進している組織で、政治的に公平中立な団体として関連機関や行政と連携しながら開催者間の情報共有や開催支援を行い、この手法の普及を目的に運営されています。

【申込方法】

申込先着順となりますので、入場を希望される方は、お名前・連絡先の電話番号を会津坂下青年会議所まで電話又はファックスにてお知らせ下さい。また、お一人で何名でもまとめてお申し込みできますし、メールでの受け付けも可能です。なお、定員になりましたら締め切らせていただきます。

※ご連絡いただきました個人情報は、フォーラム会場の入場整理以外の目的には使用いたしません。

【申込・問合せ先】

社団法人 会津坂下青年会議所

〒969-6571 福島県河沼郡会津坂下町大字白狐字土堰甲 1020-1

E-mail bange.jc@nifty.com

URL <http://jc.aizubange.jp/>

TEL&FAX 0242-83-0233 (月・水・金/ 11:00~15:00)

主催 (社)日本青年会議所東北地区福島ブロック協議会

主管 (社)会津坂下青年会議所

後援 会津坂下町 特定非営利活動法人 市民活動支援組織 NIVO

市民討議会とは？

地方分権の進む昨今、国や地方自治体でつくられる計画や条例などにおいて、市民の意見を取り入れる機会が増えてきました。しかしその手法は、公募型、指名型の審議会や協議会、委員会などが主であり、そこで意見を述べているのは関係者や専門家などの特定の市民であるのが実状です。

しかし、普段会社に勤め、家事を行い、子どもを育て、学校に通い、趣味にいそしむ、そんなごく普通の生活をするみなさんの声こそが本当の市民の声、社会の声として、行政に届け、生かしていくべき声ではないかと考えます。

ドイツには「プラーヌクスツェレ」と呼ばれる市民参画のシステムがあり、利害が複雑に絡む地域問題の解決などに大きな効果をもたらしています。「市民討議会」はこのプラーヌクスツェレを日本向けにアレンジし、社会に定着させる試みであります。地域や社会が抱える問題を市民や地域住民が共有して考えるきっかけとなり、来るべき地域社会の再生の足がかりになるものであります。

<市民討議会の特徴>

参加者の無作為抽出

会津坂下町住民基本台帳より無作為に抽出された1,000名の皆様に案内状をお送りし、25名(予定)の希望者を募ります。確認作業を行い最終的な承諾書を討議会参加者とします。

参加者の有償性

無作為抽出により討議会に参加された方には、手当が支給されます。

専門家による情報提供

討議に入る前にそれぞれのテーマについて、行政はじめ専門家(未定)を招き、意見ならびに情報提供をうけます。情報の操作性をさけるため、異なった意見を聞けるよう複数からの意見を伺います。

報告書の公表・提言

討議の結果は、行政はじめ関連機関・マスコミ等に公表・提言を行います。

まつの
松野 光伸

てるのぶ

profile

よしだ すみお
吉田 純夫

早稲田大学政治経済学部政治学科卒業後、法政大学大学院社会科学部研究科博士課程単位取得、福島大学行政社会学部部長、大学院地域政策研究科長、福島大学小規模自治体研究所長の要職をこなすかわら、福島県開発審査会会長、福島県過疎地域活性化懇談会会長、福島総合開発審議会委員等を歴任。自治省「辺地のあり方に関する調査研究会」委員、国土庁地方振興アドバイザーもつとめている。

専門は行政学、地方自治で、大学では「行政学」を担当し、総論としては、現代行政国家の基本正確と日本行政の特徴、各論としては、日本における過疎対策行政と地方自治との関係を扱っている。

研究としては、日本の行政の基本特質、特殊性などについて、地方自治に関する分析を通じて明らかにすることを主要な課題としている。従来は、自治会・町内会の機能、コミュニティ行政を対象に、実証的分析を深めることを研究の中心に据えてきたが、最近では、中央省庁の過疎対策行政変遷と過疎自治体の対策対応を検討する事を通じて、過疎地域活性化の具体的政策論を提起することを目標に、基礎的実証的分析に取り組んでおり、数年前には会津坂下町を研究題材として取り上げている。

「過疎問題と地方自治」、「過疎地域活性化の現状と課題」、「過疎地域活性化と老人福祉施設設備」、「地域づくりと参加」、等の著書がある。

市民討議会推進ネットワーク 代表
社団法人三鷹青年会議所 OB

『市民討議会推進ネットワーク』はドイツから始まりヨーロッパで広く実施されている市民参加の手法「プラーヌクスツェレ」を参考に考案した新しい市民参加のかたち「市民討議会」を中心に「市民の地域政治への参加」を推進している組織で、政治的に公平中立な団体として関連機関や行政と連携しながら開催者間の情報共有や開催支援を行い、この手法の普及を目的に運営されています。

◎主な略歴

- 2006年度 (社)日本青年会議所関東地区東京ブロック協議会 副会長(政策担当)
みたかまちづくりディスカッション実行委員長
- 2007年度 (社)日本青年会議所関東地区協議会 副会長(政策担当)
基本計画改定に向けたまちづくりディスカッション実行委員長
まちデイスみたか副代表
- 2008年度 (社)日本JC関東地区東京ブロック協議会政策アドバイザー
小金井青年会議所 外部監事
こがねい市民討議会2008実行委員
外かく環状中央ジャンクション地区検討会トータル
ファシリテーター(国土交通省主催 無作為抽出型
民討議方式導入ワークショップ)
三鷹市市民協働センター企画運営委員
特定非営利活動法人みたか市民協働ネットワーク 理事
(三鷹市市民協働センター指定管理者)
- 2009年度 (社)日本JC関東地区東京ブロック協議会政策アドバイザー
小金井青年会議所 外部監事
特定非営利活動法人みたか市民協働ネットワーク 理事
(三鷹市市民協働センター指定管理者)